

各位

2023年12月  
公益社団法人 新化学技術推進協会

## 第13回 新化学技術研究奨励賞 募集の件

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は当協会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

公益社団法人新化学技術推進協会では、産学官交流連携活動の一環として化学産業界が必要とする技術課題を設定し、その実現に貢献しうる新たな化学技術に関する研究の奨励を目的として、新化学技術研究奨励賞を贈呈しています。

第1回から昨年度の第12回まで、計148件の研究テーマに対して賞を授与いたしました。今般、第13回の募集を行いますので、奮ってご応募下さいますようお願い申し上げます。

本賞は、過去の成果・業績を表彰するものではなく、設定した課題を解決するためにこれから研究を行う魅力的な研究を奨励するものです。

募集課題については、当協会のフロンティア連携委員会の技術部会活動において得られた最先端技術情報に基づき、将来の化学産業として必要な新規技術について、環境分野、エネルギー・資源分野、電子情報分野、ライフサイエンス分野、先端化学・材料分野から、12課題を設けています。

さらに、特別課題として、サイエンスの発展ならびに化学産業の発展に貢献する基礎的な研究分野に焦点を充てることとしております。化学産業全体より、以下の3分野に焦点を当て、3年ごとに各分野から課題を設定して募集を行う予定としています。

- ①革新的合成分野
- ②革新的計測分析分野
- ③革新的化学工学分野

今年度は、「①革新的合成分野」より募集課題を設定します。

応募資格として今後の発展が期待できる若手研究者(40歳未満)を対象としています。ただし、ライフイベント等による研究中断があった場合、それを考慮いたします。また、多様な視点や発想を取り入れた研究活動を活性化するためにも、女性研究者の積極的な応募を期待します。

応募方法につきましては、募集要項をご覧ください。申請書様式、課題の説明、およびこれまでの受賞例等につきましては、当協会のホームページ(<https://www.jaci.or.jp>)の“募集・表彰”の中の“新化学技術研究奨励賞”のページに掲載しておりますのでご参照願います。

また、研究奨励賞受賞後の研究に対して、切れ目の無い継続的な研究助成を行うことにより、研究成果の産業界への早期活用を図ることを目的に、研究奨励賞受賞後1年経過後から6年以内の受賞者を対象に、新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞を設けています。

将来のステップアップ賞への応募も念頭に入れていただき、研究奨励賞にご応募ください。

敬具

# 募集要項

## 1. 研究課題

下記の研究課題から1つを選び、研究計画を作成して提出下さい。課題の説明は、協会ホームページにてご確認ください。

特別課題：有機合成化学におけるフロンティア

課題1：グリーンイノベーションを推進するための資源・プロセス・評価等に関する環境技術の研究

課題2：新しい資源代替材料・技術の創製、および資源の節約・回収・再利用に関する基盤的研究

課題3：バイオマス由来製品の事業化課題を解決する革新的な機能を有する素材の開発研究、又は革新的なバイオマス変換技術の研究

課題4：エネルギー変換・貯蔵・省エネ分野における革新素材・技術に関する研究

課題5：超スマート社会を支えるエレクトロニクス材料に関する研究

課題6：マイクロナノシステムの用途拡大につながる新規な材料・加工技術、及びデバイスに関する研究

課題7：生体機能を利用した新規合成・生産・製造に貢献する基盤技術と評価技術に関する研究

課題8：生体機能・生体分子に着目した革新的ライフサイエンス材料に関する研究

課題9：人に寄り添う新しい社会へ対応するための脳科学および感性科学の研究

課題10：持続可能な開発目標に資する材料設計・プロセス設計のための計算科学・計算工学・データ科学の研究

課題11：国内産業の強化・新産業創出に資する「新素材」実現のための基盤的研究

課題12：持続可能な社会の実現に向けた革新的反応技術に関する研究

## 2. 応募資格

国内の大学またはこれに準ずる研究機関(大学共同利用機関、高等専門学校、公的研究機関)において研究活動に従事する方であって、2023年4月1日時点で満40歳未満の方に限ります。ただし、ライフイベント等による研究中断があった場合、それを考慮いたします。ポストドクター、研究員を含みますが、受賞後少なくとも1年間は応募テーマを研究できる方とします。学部および大学院の学生は含みません。研究場所は日本国内に限ります。

## 3. 応募方法

当協会ホームページの“新化学技術研究奨励賞”のページ

([https://www.jaci.or.jp/recruit/page\\_02\\_13\\_2024.html](https://www.jaci.or.jp/recruit/page_02_13_2024.html))からお申し込みください。

## 応募書類

### (1) 応募申請書(ファイル)

「応募申請書」は“新化学技術研究奨励賞”のページからダウンロードできます。

1. 研究計画 (A4 版で 3 頁程度)
2. 発表論文一覧  
(当該研究に関連し発表した論文の一覧表。すでに受理されているものや印刷中のものを含む主なもの 5 報以内)
3. 審査参考論文  
(2 の発表論文のうち、審査の参考になるとと思われる論文の代表的な論文 1 報の書誌事項をここに記載し、論文を別添する(別添論文は 1 報のみ))
4. 略歴等
5. 他の研究助成の有無
6. 連絡先
7. 参考 (企業との共同研究希望の有無等)

### (2) 参考論文(ファイル)

(上記 3 の審査の参考になるとと思われる発表論文(1 報のみ))

- 応募申請書は日本語で記載して下さい。
- 応募申請書のファイル名は、“課題番号-応募者氏名.doc”として下さい。  
例：“3-化学太郎.doc”、“特-化学太郎.docx”
- 参考論文のファイル名は、“課題番号-応募者氏名-参考論文.pdf”として下さい。  
例：“3-化学太郎-参考論文.pdf”

## 4. 募集期間

2023 年 12 月 14 日 (木) ~ 2024 年 2 月 8 日 (木) まで

## 5. 選考件数

各研究課題につき原則として 1 件

## 6. 助成金・使途

受賞者には、研究助成金として 1 件につき 100 万円を個人に対して贈呈します。  
研究目的であれば、使途は限定しません。

## 7. 条件

- (1) 受賞者は、2 年経過後にそれまでの研究経過のレポート(A4 用紙 2~3 枚程度)を提出して頂きます。レポートは当協会の会員企業を対象に公開します。
- (2) 当協会の要請に応じ、研究経過・結果の報告会で説明を行って頂きます。
- (3) 研究成果のまとまりを得て投稿する論文については、本研究奨励賞による助成を受けている旨を記載すると共に、当協会に連絡して頂きます。

英語名：JACI Prize for Encouraging Young Researcher

## 8. 選考

学識経験者からなる当協会の審査委員会にて審査の上、決定します。

審査は「課題適合性」「独創性/新規性」「実現性」「波及効果」の4項目を評価します。課題によっては新たな評価項目を追加する場合や重点評価項目を設定する場合があります。課題説明の「評価のポイント」欄に記載していますのでご確認ください。なお、重点評価項目は、一次審査において一定割合の加点を行う評価項目を示していますので、申請書を作成する上での参考にして下さい。

選考の結果は2024年6月までに当協会ホームページに公開すると共に、選出された各人に通知します。

6月末までに通知の無い場合は、該当せずと判断下さい（6月末日以降、必要に応じて、お問い合わせ下さい）。

## 9. 授与

2024年6月（予定）に、当協会会議室において授賞式を開催し、賞を授与します。

## 10. その他

顕著な成果の挙げた研究については、当協会の講演会等で成果発表を行って頂くことがあります。

## 11. 新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞について

研究奨励賞受賞者を継続的に助成するために、受賞後1年経過後から6年以内の方を募集対象に、新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞を設けています。概要につきましては次頁を参照下さい。また、応募の詳細については対象者に別途ご案内いたします。

将来の新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞への応募も念頭に入れていただき、研究奨励賞にご応募ください。

### 【問い合わせ先】

(公社)新化学技術推進協会 新化学技術研究奨励賞事務局  
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル2F  
TEL：03-6272-6880  
e-Mail：jaciaward13@jaci.or.jp  
URL：<https://www.jaci.or.jp/>

以 上

## 2024 新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞について

(公社)新化学技術推進協会では、化学産業から見た挑戦的・萌芽的な研究に対して新化学技術研究奨励賞を贈呈しています。

切れ目の無い継続的な研究助成を行うことにより、研究成果の産業界への早期活用を図り、我が国の化学産業の国際競争力の一層の強化を図るために、研究奨励賞受賞後の研究に対して新化学技術研究奨励賞ステップアップ賞を授与して研究助成を行います。

応募資格 : 研究奨励賞受賞後 1 年経過後から 6 年以内の方で、研究奨励賞受賞テーマを発展させたテーマ、またはその関連テーマについての今後の研究構想・計画に関する応募であること。

国内の大学またはこれに準ずる研究機関に従事して、日本国内で研究を実施すること。

評価ポイント : 化学産業界へのインパクト/学術的・社会的な意義

研究進捗実績

研究計画の妥当性と実現性 など

選考件数 : 1 件/年 (該当無しもあり)

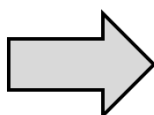
助成金・使途 : 300 万円以内。研究目的であれば使途は限定しない。

応募方法 : 2023 年 12 月に対象者にメールでご案内すると共に、協会 HP にも掲載予定です。

### 新化学技術研究奨励賞

研究助成 (13 課題)  
助成額 100 万円/件  
件数 原則 1 件/課題

化学産業からの募集課題に対しての挑戦的・萌芽的な研究



研究終了後  
応募  
受賞後 1-6 年

### 新化学技術研究奨励賞 ステップアップ賞

研究助成  
助成額 300 万円以内/件  
件数 1 件以内/年

化学産業界への貢献の観点から切れ目のない継続的な助成